

全国 3000 万署名・推進ニュース NO.18

発行日:2006年10月26日 発行:全教・日高教・教組共闘

山口 街頭宣伝行動で700筆

「19人クラスはええよお」と、おばあちゃんの声！

山口県高教組は、2100名が参加した「教育基本法改悪は許さない！10・1県民のつどい」から1週間後の10月10日から13日の間に、県内6地区で、3000万署名街頭宣伝行動を行いました。

各宣伝場所では、夕方からの1時間程度の行動でしたが、県教組・私教連も含めて62名が参加、約700筆を集約しました。



防府では、「すみませえん、教育条件を良くする署名です。ぜひ協力を」、「父ちゃん母ちゃんの学費負担を軽くしてほしいという署名です」に、年配の方が「もう、うちには子どもはおらんげな。でもしておくわ」といいながら署名するなど、反応もよく「がんばってください」と声をかけられる場面もありました。

下関では年配の方が「孫が転校して35人のクラスから19人のクラスになって、のびのびしている。運動会でも活躍がよみえる。19人はええよお」との声がありました。

安倍首相の地元でも

安倍晋三首相の地元長門では、3000万署名後に「教育基本法改悪反対署名はしないのですか」と問われ、あわてて教育基本法改悪反対の署名用紙を用意。聞けば地元の教会の牧師さん。「高教組ががんばってください。統廃合反対運動もお疲れ様でした」「教育基本法改悪反対は私たちも運動しています。是非がんばりましょう」と励ましていただきました。

「教育基本法」が話題になっているだけに、昨年より街頭署名には協力する割合が高くなっているというのが感想で出ていました。長門では、予定を延長して行動しました。

さて あとは各分会・組合員の出番だ！！



- 富山 - 教基法、高校再編統廃合問題で、自治体キャラバン実施中！

富山では、10月2日の朝日町、入善町、黒部市を皮切りに、県内の市町村を訪問し、首長または教育長との懇談を始めました。教育基本法「改正」案をどう考えるか、学力テストの実施や結果の公表をどうするか、地域の高校の再編統廃合問題をどう考えるかなどについて、地域の職場からも参加して、懇談をおこなっています。ほとんどの市町村から「地元の高校を存続させたい。財政論一辺倒では困る」との声が出ています。また、「学校選択制は地方の実情に合わない」「教育基本法は十分な論議を」「教育基本法『改正』案の『振興基本計画』では、県の独自性が生かせない」等の声もありました。

360名の退職教職員に署名依頼！

富山高教組では、過去5年間の退職教員360名に署名用紙を送り、協力をお願いしています。10月16日までに、3000万署名が126筆、教育基本法改悪反対署名が70筆届いています。

全国3000万署名の集約が始まります！

すでに要請文書でお知らせしましたが、全国3000万署名の集約を始めます。お忙しいと思いますが、各県組織でも、支部・単組、分会の署名数やとりくみを集約できる体制を確立してください。集約した署名数や教訓的などりくみなどをすぐ推進ニュースで紹介したいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

署名集約日

- ・10月30日(月)
- ・11月20日(月)
- ・12月4日(月)